

三島市 新庁舎整備に関するワークショップ
第1～第3回結果まとめ

令和5年5月

新庁舎整備における基本構想/基本計画へ、市民意見に加え、自治会、地元関係団体等の幅広い意見を反映させるため、市民ワークショップを開催しました。基本構想/基本計画で計6回開催予定としており、基本構想分の第1～3回が完了したため、その結果を取りまとめました。

○ワークショップのメンバー構成

ワークショップのメンバーは市民、各関係団体の推薦者、学生及び市職員で構成されます。なお、市民は前回の市民会議参加者から継続してワークショップへの参加を希望する方を募り、市職員は35歳以下の若手職員から公募しました。性別、人数、所属団体名等は以下の通りです。

性別		合計人数
男性	23人	32人
女性	9人	

区分	所属団体名等
市民	市民会議参加者
自治会	錦田地区自治会連合会
	西部地区自治会連合会
	中部地区自治会連合会
	東部地区自治会連合会
	北上地区自治会連合会
	中郷地区自治会連合会
学生	静岡県立三島北高等学校
	静岡県立三島南高等学校
	日本大学三島高等学校
	日本大学国際関係学部
子育て	三島市 PTA 連絡協議会
	民間保育園保護者会
商工	三島商工会議所青年部
農業	富士伊豆農業協同組合三島函南地区本部 部農会
福祉	三島市身体障害者福祉会
国際交流	三島市国際交流協会
市職員	三島市役所

○開催日時・テーマ

ワークショップは、下記日程で開催しました。

開催日時	テーマ	参加人数	場所
第1回ワークショップ 令和4年11月12日(土) 13:30-15:00	①三島のまちでどんなことがしたいか、どんな場所があると良いか ②市庁舎でしたいこと、あったら良いスペースは何か	25名	社会福祉会館 4階
第2回ワークショップ 令和5年2月18日(土) 13:30-15:00	理想の庁舎像とは	21名	
第3回ワークショップ 令和5年4月15日(土) 13:30-15:00	理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置について	24名 (書面参加4名)	

○ワークショップの流れ

ワークショップは、各回共通で①情報共有/振り返り、②グループワーク、③成果共有の順で実施しました。グループワークはA～Eの5グループに分かれて行い、参加者が意見を言いやすいように3回とも同じグループ構成としました。また、スタッフは全体司会1名、各グループの進行役・補佐役1名ずつの計11名を配置し、参加者の多様な意見を引き出す環境づくりに努めました。

加えて市庁舎の検討の際に「三島のまち」との関係を意識していただくため、候補地周辺を示した白地図を各グループに用意しました。



①情報共有/振り返り



②グループワーク



③成果共有

○第1～第3回の構成

第3回で新庁舎の整備場所を検討していただくことを目標とし、各回の内容を設定しました。

・第1回ワークショップ：基本情報の共有、三島の好きな場所、どんなまちなかが良いか、市庁舎に求めること

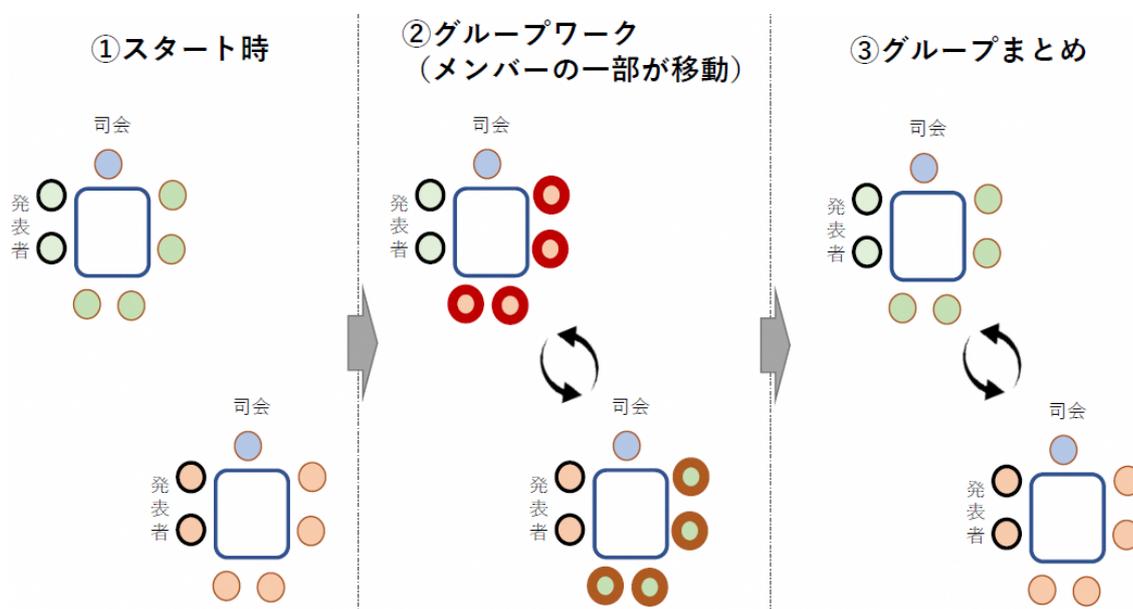
第1回ワークショップでは、新庁舎整備計画の概要、整備候補地の基本情報を共有したうえでグループワークを実施しました。三島の好きな場所、どんなまちなかが良いかを共有することで、庁舎に必要な機能とまちとして必要な機能のすみ分けを行いました。

・第2回ワークショップ：幅広い情報の共有、理想の庁舎像の検討

第2回ワークショップでは、市民アンケートや市民会議等、過去にいただいた整備場所に関する意見、民間施設の複合化に関する意見を参考としながら検討を実施しました。また市庁舎建替に関する明治大学大学院学生の提案、まちなか活用事例等の多岐にわたる情報を共有し、参加者の視野を広げることに努めました。グループワークでは、前回各グループで検討した庁舎に必要な機能をすべてのグループで共有する「ワールドカフェ方式(※)」での検討を実施し、様々な意見に触れるなかで理想の庁舎像について議論いただきました。

※他の班を回り、検討内容を共有しながら進めるグループワークの方式。

当日の動き方は以下の通りでした。



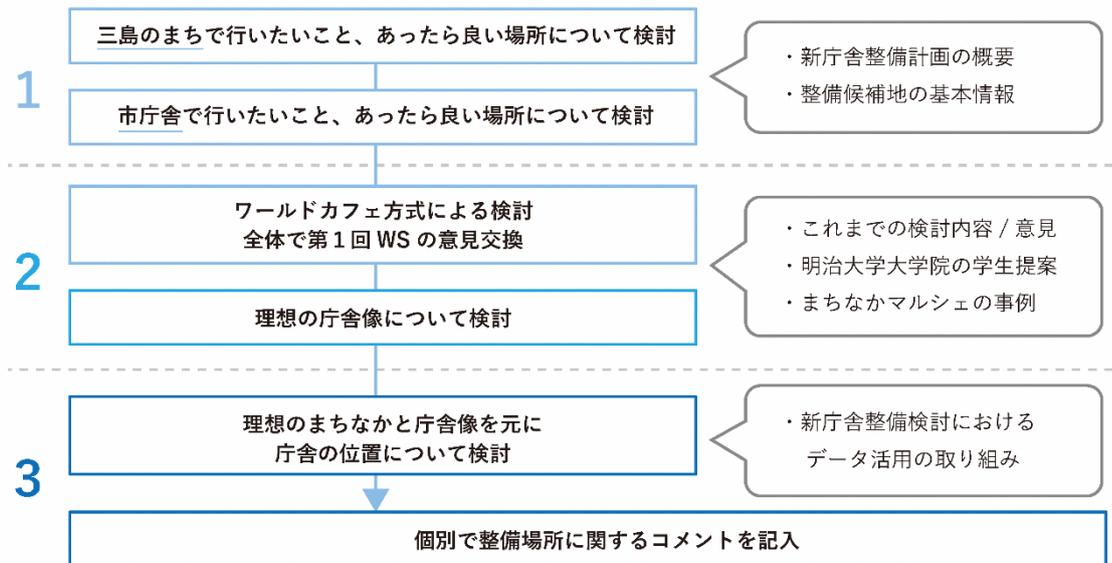
①司会と班の代表者 1~2 名が自分の班に残り、他のメンバーは他班を回ります。

②班に残った代表者は、第1回ワークショップの検討内容を発表し、他班を回るメンバーは、発表内容に関する意見交換を行います。

③他班を回り終えた後に自身の班に戻り、意見交換の内容を共有、「理想の庁舎像」について検討を行います。

・第3回ワークショップ：新庁舎の整備場所の検討

第3回ワークショップでは、今までの検討内容の振り返りを行った後、人流データ活用の取り組みを一部共有しました。グループワークでは、第1回、第2回の検討内容やこれまでに共有した情報を元に、各グループで新庁舎の整備場所について検討しました。グループワークの後には、当日の検討を含め、個人として整備場所に関するコメントを記入いただきました。



○テーマごとの検討結果

(第1回ワークショップ)

テーマ：①三島のまちでどのようなことがしたいか。どのような場所があると良いか。

主な意見内容は以下4つに大別できました。

大項目	小項目	意見内容
まちの良さ	まちの魅力、地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・水や緑等、自然の活用 ・歴史を活かしたまち ・富士山への眺望等、景観を意識したまちなみ
場所づくり	憩いの空間、休憩場所	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩場所、くつろげるスペースの多いまちなか
	交流できる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の交流、相談 ・高齢者や子供を含めた多世代交流
	子育て、安全、健康	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しめる駄菓子屋 ・防犯が大丈夫なところ
	広場、公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツができる広さの広場 ・多目的に利用できる広場、公園
交通 アクセス	アクセス性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかへ訪れるハードルを下げるための駐車・駐輪場 ・まちの魅力を結びつける交通手段
	ウォークアブル	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を巡り歩くことができる ・散歩したくなる、歩きやすいまちなか
情報	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの魅力を繋ぎ合わせるストーリー、仕組みづくり ・Webを活用したまちの魅力の発信

テーマ：②市庁舎でどのようなことがしたいか。どのような場所があると良いか。

主な意見内容は以下4つに大別できました。

大項目	小項目	意見内容
庁舎の高機能化	市民サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ふらっと相談できる、オンライン相談 ・ワンストップサービス
	多機能な庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりできる喫茶、 ・誰でも使える会議室
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い庁舎、防災センター
	バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・行かなくてもすむ、スリム化 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
	DX、自動化	<ul style="list-style-type: none"> ・DX化と人とのコミュニケーションの両立
市民の居場所づくり	交流憩いの空間	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代、世代間の交流の場所 ・市民の憩える屋外空間
	開放された場所	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使えるオープンな場所
	集う場所	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで集まって未来を話し合う場所 ・行きたくてわざわざ行く
	場所の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間に使えるワークスペース ・休日の駐車場の貸し出し
交通アクセス	アクセス性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの交通との連携 ・市役所まで乗り物一つで30分以内に
情報	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・個人間での情報交換 ・議会の参加のハードルを下げる

(第2回ワークショップ)

テーマ：理想の庁舎像とは

主な意見の内容は以下9つに分類できました。

分類	理想の庁舎に関する主な意見
①多目的に利用できる庁舎	<ul style="list-style-type: none">・平日と休日で機能を切り替えるなど、柔軟な場所活用を行い、新たに利活用できるスペース（ゆとりスペース）を生む・手続き以外の目的で訪れる庁舎/多目的に利用できる庁舎
②まちの情報拠点	<ul style="list-style-type: none">・水や歴史をはじめとした、まちの情報の共有/魅力の発信・人材のマッチング等、まちの情報を共有できる・人のつながりによる情報共有・助け合いをうながす「地域のコーディネーター、まちのコンシェルジュ」
③防災に役立つ庁舎	<ul style="list-style-type: none">・災害時に支援物資が保管できるフレキシブルな使い方・災害時には地下にいろんなものが保管できると良い
④市民に開かれた庁舎	<ul style="list-style-type: none">・自由に弾けるピアノがあるなど、文化活動を行える庁舎・子どもが遊べる、使える場所がある・学校の活動の発表場所となるような、学校との連携
⑤皆が集まる庁舎	<ul style="list-style-type: none">・人と人が寄り添い合えるような場所・何でも相談できる窓口、手続きではなく相談をしに来る・観光など人の集まる拠点、人が集まりやすい場、まちなかの集会所・地域と連携した食堂、名物のカレーがあるなど、付加価値を持たせることで「来たいから来る庁舎」にする
⑥アクセスの良い庁舎	<ul style="list-style-type: none">・駅前にアクセスしやすい・駐車場がたりない
⑦DX化を見越した庁舎	<ul style="list-style-type: none">・事務スペースの効率化、スリム化・オンライン手続き、窓口の一元化・DX化と人との交流の両立
⑧ちょうどよい規模の庁舎	<ul style="list-style-type: none">・身の丈に合った庁舎・将来の人口減少などを見越し、機能に見合った規模の庁舎
⑨庁舎のイメージ	<ul style="list-style-type: none">・シンボリックな場所

(第3回ワークショップ)

テーマ：理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置について

これまでの検討を踏まえ、個人として新庁舎の整備場所についてどのように考えるか意見を伺いました。以下は、いただいた主な意見のまとめです。

主な意見	
北田町に建てたい	<ul style="list-style-type: none">・ 外からの人も含めて交流活動がしやすい・ 防災拠点を多拠点にして本部機能だけまとめる・ 市職員がまちづくりの中心にいる・ 周辺施設とトータルにデザイン・ 市役所は行政を行う場所、市民の交流の場ではない・ 災害の少ない場所・ 海拔が高いため災害時の本部機能が確保できる・ 建蔽率、容積率を変更で対応できる・ 身の丈に合ったコンパクトなものづくり・ 駅からも商業施設からも近い人通りが多い場所として発信ができる・ 観光客に使いやすい・ 防災面で地域の拠点となる・ 長く愛された場所・ 狭いがDX化で工夫が可能・ 安全性が高い・ 町の中心にある・ 災害に強い・ まちへの愛着が強い・ 水や歴史的な街の魅力・ 今後のまちづくりはウォークアブルであるべき・ 市役所機能は、現在のように拠点分散型で構わない・ 未来を見据えた視点で必要な機能や規模を検討して欲しい・ 1階をできるだけ市民活動や市民の交流の場にする
南二日町に建てたい	<ul style="list-style-type: none">・ 防災拠点としての用地の確保・ 仮設庁舎が不要なので防災対応が建設時も維持できる・ 事業費に差がある・ 北田町は観光に特化した施設、駐車場に活用できる・ 想定事業費が安い・ 敷地が広く、さまざまな機能を持った庁舎にできる・ 交通アクセスが良い・ 自然が身近にあり市民が憩うことができる・ 高齢者、学生が行く際に交通サービスが充実している

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実現できなかった様々な場（情報共有、ストリートピアノ、物資保管）として使うことができる ・子供が遊べる場所や喫茶ができる ・三島市全体の発展につながる ・今後の利便性を考えると北田町では狭すぎる ・役所機能のほかに多様性が持てる ・公園的な安らぎを備えたゆとりと安心 ・近隣住民の安全対策を考慮できる ・北田町の敷地はまちなかや観光のために活用できる ・無駄なものは作らないことを前提に、2Kの家に工夫して住むよりも4LDKの国道そばを望む ・広さもあり自由度が高い ・交通アクセスも良く国道1号線に面していて防災拠点としてよい ・浸水対策は盛り土をすれば問題ない ・自衛隊等の出動時に今よりも広く国道に近い ・コスト面で ・交通アクセスが便利 ・敷地が広い ・敷地面積が広いので防災拠点となる ・待合スペースが取れる ・駐車場不足解消 ・駅からも近く車でのアクセスも良く誰でも行くことができる ・消防署や警察署が近く安全面が確保できる ・北田町に建てるスペース不足で職員はどこで仕事をするのかなと思う
<p style="text-align: center;">どちらでも</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらにもいい点がある ・工夫次第でどちらでも満たすことが可能 ・防災など広さを必要とするのは南二日町、急ぐ手続きは北田町、どちらも三島の発展につながる方向で ・庁舎という機能を越えて、人と人との交流を求める意見も非常に多かったという印象を持ちました。 ・建物を建てる点では、敷地に余裕のある南二日町が圧倒的に有利。一方で、中心市街地へのアクセスでは課題もある。 ・どちらのエリアも一長一短あるので、エリアを選択した場合におけるそれぞれの短所にあたるポイントへの対応や改善に注力できれば良い。

参加者が選択した整備場所の内訳は以下の通りです。

新庁舎は北田町（現地）に建てたい	10名
新庁舎は南二日町（移転）に建てたい	10名
どちらでも理想の庁舎像を実現できる	4名

○総括

本ワークショップにおいては、基本構想策定時に3回、基本計画策定時に3回の計6回としており、基本策定時の3回のワークショップが終了しました。

基本構想策定時の目的としては、新庁舎の整備地を決定するための意見の集約となり、これを決定するために第1回では庁舎に必要な機能のすみわけ、第2回では三島市に必要な機能を持った理想の庁舎像の検討、そして第3回では各個人での整備地に関する意見を頂きました。

3回のワークショップ経て、いただいた新庁舎整備地に関する貴重な意見については、整備地選定の参考にさせていただき、今後策定する基本構想に引き継いでいきます。